

飛鳥資料館 春期特別展「飛鳥寺2013」

飛鳥寺は、『日本書紀』によると崇峻天皇元年(588)に造営が開始されたとされる日本最初の本格的な寺院です。飛鳥寺建立は、仏教伽藍の建設にとどまらず、宗教・政治・文化・思想・美術・建築・技術等あらゆる面において当時きわめて重要な意味を持ち、日本古代史的一大画期でした。

この飛鳥寺の発掘調査をおこなったのは、半世紀以上も前の1956年～1957年のこと。そして、その時の出土品や『元興寺縁起』をもとに、飛鳥資料館では1986年に「飛鳥寺」展を開催し、多くの方々にご来場いただきました。

その後、飛鳥寺にかかる調査や研究に様々な進展がありました。今回、「飛鳥寺2013」展として「飛鳥寺」展以降の新研究の成果と、奈文研が飛鳥寺の発掘調査をおこなった際に残した記録類の展示を企画しました。

今回の展示によって、飛鳥寺建立の意義と、その遺構や文化財を残してきた飛鳥の風土について思いをはせていただければ幸いです。 (飛鳥資料館 成田 聖)

会 期：2013年4月26日(金)～6月2日(日)

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで、年末年始・月曜休館)

ホームページ：<http://www.nabunken.go.jp/asuka/index.html> お問合せ：[0744-54-3561](tel:0744-54-3561) (飛鳥資料館)



飛鳥大仏

平城宮跡資料館 春期企画展「発掘速報展 平城2012」

発掘調査をするとき、調査員は何を考え、どんなふうに遺跡を解明しようとしているのか、ご存知ですか？今回の発掘速報展は、そんな研究員の「思考回路」そのものを披露する展示です。

想定外の遺構の出現に驚き、5次にわたる調査の度に検討を重ねていく「平城京三条一坊一・二坪」の調査、今までの伽藍内の調査や文献史料と照らし合せながら推察していく「薬師寺食堂」の調査、小規模な発掘調査成果を蓄積していく、周辺一帯の様相解明に役立てる「法華寺周辺の調査」…と、今年度発掘した3ヶ所の調査の様々な思考のようすを紐解きながら、それぞれの遺跡をご紹介します。

是非、展示会場にお越しいただき、「発掘調査員の頭の中」に飛び込んで、一緒に遺跡の謎を解く旅に出てみませんか！ (企画調整部 渡邊 淳子)

会 期：2013年3月16日(土)～6月2日(日)

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで、月曜休館)

ギャラリーイベント：会期中毎週金曜14:30から(5月3日除く)

研究員による展示解説やクイズ大会 ※詳細はホームページに掲載

ホームページ：<http://www.nabunken.go.jp/heijo/museum> お問合せ：[0742-30-6753](tel:0742-30-6753) (連携推進課)



■ お知らせ

飛鳥資料館 写真展

2013年3月9日(土)～4月14日(日)

第3回写真コンテスト

「神々の山—大和三山のある風景—」

平城宮跡資料館 春期企画展

2013年3月16日(土)～6月2日(日)

「発掘速報展 平城2012」

飛鳥資料館 春期特別展

2013年4月26日(金)～6月2日(日)

「飛鳥寺2013」

■ 記録

文化財担当者研修

○古文書歴史資料調査管理基礎課程

2013年1月15日～18日

○文化的景観調査計画課程

2013年1月21日～25日 11名

○生物環境調査課程

2013年2月13日～21日 5名

○保存科学Ⅳ(遺構・石造文化財)課程

2013年2月25日～3月1日 10名

現地説明会

○平城第500次発掘調査(薬師寺食堂)

2013年1月26日 714名

飛鳥資料館 冬期企画展

2013年2月2日～3月3日

「飛鳥の考古学2012」

1,355名

編集 「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.go.jp/>

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2013年3月